

- 何でも言える ●何でも書けるミニ雑誌〈あごらミニ〉
- 小さな〈ひろば〉=AGORA・〈あごら〉
- あなたの声を待っています。みんなてつくる〈あごら〉

あごら

MINI (59号)
1982年3月10日発行 ¥100 円40

今月のなかみ

＜編集担当・あごら北東京＞

情報	表紙のことは インドへの旅……………山本フミノ……………1
報	エコロジー運動とフェミニズム運動……………2
	アピール 核禁止・軍縮へ3000万署名を……………6
	核廃絶へ 五月には反核50万人集会を！ 駒場祭の暴力？！……………7
	『声なき叫び』上映運動に協力を 今年度分会費（2月分）報告……………7
	求むアルバイター……………8
	女のつどい・女の講座……………8

インドへの旅

山本フミノ

年末、インドに二回目の旅をした。先日、メンバーたちに写真を見せてもらう。誰かが汽車のトイレを写している。ドキッとした。インドで印象の強かったもの——いたる所に転がる排泄物。なのに私は一枚もそんな写真を撮っていない。

南端のコモリン岬。聖なる夕日を拝む人びとの足もとに、点々と落ちていく糞。「犬が食べているやつは人間のだよ」とメンバーの一人が言う。沐浴場の人びとは体を清め、口をゆすぎ、洗たくをする。そのガート(水面へ降りる石段)の上にも糞がある。ニューデリーの大通りに面した壁に、幾筋もついたアンモニア臭のするしみ、石だたみのつばの跡。やっとみつけた公衆便所に入ると、扉のないボックスで、入口を向いて用を足している女たちが並んでいた。便器のかたわらに排泄物がある。圧倒されて一瞬足が動かなかった。

それらを撮ろうという発想が、どうしてまるっきりスッポ抜けていたのだろう。近代の都会に生きる私たちの中では、排泄することは「はばかり」とし

て意識の隅に押し込められている。はばかりしている自分に気がつかなければ、わざわざフィルムにして残すようなことはできない。

排泄物がむき出しになっているのは、不潔だし、伝染病が広がっていく原因になるのに違いない。でも道端の排泄物は、衛生に対する無知のせいだけではないらしい。

汽車の中で食べかすを入れようと、ゴミ袋を取り出すと、隣に座った土地の人が「窓から投げて大地に還しなさい」と言う。最初はおそるおそる落とす。まずバナナの皮、次にサンドイッチの紙箱。投げ捨てるときの爽快感を味わうと、だんだん大胆になっていく。アスファルトにおおわれていない大地は、塵芥を飲み込んでいく活力を、まだ失っていない。「インドのどこがいいの」ときかれると、「日本とすごく違うから」とあいまいに答える私。でもきくと今年もインドに行くだろう。そして今度は、ちゃんと「下」の部分にもカメラを向けられるようになるだろう。

共に考え

共に学ぼう

老いについて
考えませんか

27号の予定テーマは「女と老い」。
気長に考えていきたいと思いま
す。一緒に考える方、ご連絡を。
(八あごらV気付でハガキをくだ
さい)

外国のフェミニストと 英語を学びませんか

- ◆月曜クラス
毎週月曜夜6時15分〜7時30分
- ◆月謝 3千円(非会員は6千円)
- ◆水曜クラス
毎週第1第3水曜10時30分
〜正午
- ◆月謝 2千円(非会員は4千円)
- ◆会場は「あごら読書室」(地下鉄丸の内線「新宿御苑前」下車1分、03||354||9014)
- ◆月曜クラスは高卒程度の力で十分。水曜は、少し慣れた方向きです。
- ◆いつからでも参加できます。

エコロジー運動とフェミニズム運動

70年代に入り、フランスを中心とするヨーロッパ各地にエコロジー運動が巻き起こり、今や反公害、反核運動の巨大なパワーとなっている。“生命の尊重”を謳うこの運動とフェミニズム運動は重なり合うものがある。この二つの運動の関わりについて宮川中民著『エコロジズムの展開』を手がかりに話し合ってみた。

今日は「エコロジズムの展開」をテキストに、フェミニズム運動とエコロジー運動のかかりについて話し合ってみたいと思います。まず問題提起者の方からどうぞ。

エコロジー運動の中に

一つの方向性

A子 このへあごら北東京Vに一つの方向性がほしいと前から思っていました。女性解放というのは社会的条件が必要だと思わなければならないと女性解放はあり得ないんじゃないかと思っていたとき、この本を読んで、これじゃないかと思つたんです。中央からの技術的な管理ではなく、自分たちでつくっていくひろがりのある発想にひかれ、女性解放とつながるんじゃないかと思つたの。

F子 この本に女性解放運動がめざす一つの方向性があると思うわけね。つまりフェミニズムがどういふ社会を求めるかというとき、エコロジーが提示する社会があるべき社会だと思わうわけ？

A子 あるべき社会かどうかはわからないけれど、そういう方向性の中にあると思う。

B子 私は、ある市民団体主催の講演会でエコロジー運動を知り、その中で西ドイツの「緑の党」という、女性がエコロジー運動の主体となつて生命の問題を中心にした運動をひろげている組織の紹介をうけて、もしかしたら、私の考えている女、人間の解放というもの、エコロジー運動が結びつくんじゃないかと思つた。生命を産み、育む女性が運動の核になるということで、この社会の流れを変えうと思つたのね。

反戦・反原発をたたかう場合、私たちの生活のありようの転換を同時にやっつけていかなければならないと思うし、反原発までいくんだつたら、自分たちの生活の質を点検するよう運動をやらないと本当の運動にならないんじゃないかと。そこがエコロジー運動の重要なポイントだと思うの。でも、フェミニズム運動とエコロジー運動を結びつけることは、日本ではまだなされていらないように思う。

C子 エコロジー運動がどういふ運動か、まだわからないところもあるけれど、今までの運動は、生活の場からはなれて運動は運動、生活は生活で、その生活は今の社会によってつくられた価値観に汚染されているというよいうなことがたくさんあると思う。たとえば、マイホーム主義とか。運動をやっているでも自

限界にきた

高度経済社会

A子 たとえば原発の問題をとると、テレビなんかでは、安全か安全でないかという論議がされるだけで、何か足りないと思つてたの。安全であるかどうかというのは、管理することによって安全ということもあるわけだし。この本で思つたけど、もっと自分たちにわかる

分たちの生活も含めたトータルな価値観の転換につながっていかないところがある気がするのね。その意味で、エコロジー運動の日常生活のかかりの中でアピールしてというところにも共鳴するものがあるの。

D子 反核・反戦にしてもフェミニズムにしても根は一致していると思うけれど、つながっている実感がない。別々に運動して、声にもならない声をあげて何も変えられない、でも声を出さなきゃあというがんばりリズムだけでやってきたわけだけれど、これからは、なぜ連帯できないのか、どういふふうに連帯したらいいのかを自覚して、個々の運動体が積極的な連帯をもたないと何も変えられない気がする。その抛り所をエコロジーだけに求めるんじゃない、考える素材としていいと思うのね。

C子 さんの意見と同じようなことを最近強く感じて、どんなにいろいろな活動家でも、やっぱり評論家的なところが免れない気がして。運動しにくい場所と生活する場所が離れていることに疑問もあるしね。エコロジー運動をもっとフェミニズム運動にとり入れていく必要性は感じる。

けば、どういふ安全になるかという話になる。自分たちで安全を考えるのか、誰かに安全にしてほしいとお願ひに行くのかというちがいのような気がして。

D子 原発の問題でいうと、専門家や政府の説明が足りないという、いわゆる情報公開的なところでアプローチしていると思うけれど

ど、専門家に説明されても、もう私たち国民は、その説明すら判断できないようなレベルに科学が進んでしまったわけよね。もう一度、私たちのレベルに引き戻して考えようということね。

A子 生産をあげるというのは効率化の考えでしょ。女性は、子どもを産む、生理があるということから効率的ではないわけ。効率を追求する社会では切り捨てられちゃう。

B子 むしろ女に男を合わせるという表現があったけれど、今までの女性解放運動は男が外で働いて経済力を得ているのだから、女も一緒に外へ、という考えで、それだけでいいのかもしれないように思う。

C子 でも、その問題はむずかしいし、きちんと考える必要があるわね。

F子 私もそう思う。現実の段階としては、まず女の人も男の人と同じように機会がひらかれるとか、同じ条件で働けるということが大事であって、それを飛びこえて、女のレベルに男を合わせるというふうに、ばつともっていきけるんだらうか。

C子 女性の権利を具体的などころで拡大していく場合に、まだまだ遅れている状況がたくさんある中で、エコロジーの考え方でたかうとしたら、どういうことになるかという

本音 か どう か が

つきつけられる

B子 この本に関して言えば、六〇年代は世界的に高度成長期で、それによって七〇年代は資源の枯渇や公害問題が発生して、その反省点にたつたりえて八〇年代があるわけね。

八〇年代は、国内で消費がはけないものをどんどん第三世界にもって行って、そこに公害を発生させているという状況があるわけ。そのうした第三世界の犠牲により成り立っている

疑問、わからなさがあるわ。

D子 フランスのように、これだけエコロジが浸透していれば受け入れやすいのね。要するに人間らしい人間の生き方ということでしょう。

F子 今みたいにな況になると、ヨーロッパでは日本並みに働かないから生産があがらないとか、勝ち抜くためにはまず効率をあげなければといわれる中で、どう対決したらいいんだらう。

E子 世界経済そのものがそういうところになってきているというところは、わかる人はわかっていると思うのね。働かないからではなくて、どんどん生産しても消費する場所がなくなってきたつあるという現実が日本にもあるし、ヨーロッパにもある。消費ができないかぎり、経済はのびていかないわけでしょ。まさに一つの流れとしての必然の結果であるから、それを労働者云々というのは、生産至上主義最後の悪あがきであって、これ以上、生産自体をあげることが不可能なんだという上にとったところで話をしていかなければいけないと思うの。だから、基盤をまったくちがうところを持ってこないかぎり、無理な土俵で相撲をとるはめになるんじゃないかしら。

今の経済社会のしくみがよくないんだ、ということを書いていかなければならないんじゃないかしら。

E子 そこで大事なことは、よくないんだということを経済の総意として……、ちょっといやなことばだけれども(笑)、私たちみんなが本当にそう思えるかどうかよ、まずは本音として思えなければ、どうしたらいいかなんて言ってもはじまらないのよ。思えるか思えないかが、私たち一人ひとりにつきつけられている気がするわけね。生活のダウンができるのでできないのか、できるという考えが本当にあるのか、多分ない人のほうが圧倒的なんだらうけど。本当のところはどうなのかをまず出発点にしたところでやらなければいけないと思う。

B子 そうい生活生活したい人は、自分たちで電気をおこしたりとか(笑)。自分の生活の中で、できることもあるわけでしょ。たとえ、すぐに物を買わないで、リフォームす

猛スピードで進んでいる

地球全体の生態系の危機

E子 あるいは、私たちの想像以上に、事態は深刻なんじゃないかと不安に思うときがある。私たちの気がつかないところで、地球全体の生態系そのものが蝕ばまれているという危険があるの。

B子 今、NHKで食糧問題をシリーズでとりあげているけど、地球全体の耕地の砂漠化がすごい速度で進んでいるらしいのね。化学肥料が一つの原因になっているらしい。エジプトあたりでは、砂漠を耕地にするために川

とか……。

A子 自家発電となると、一部の人の趣味みたいになっちゃうけど(笑)。確かに、どんどん買わされる方向にむかわざれているわね。消費を拡大すればいいということばで働かされている、そういう社会の行きつく先に希望はないと思いつめたなかつたら、方向転換は出てこない気がする。そこから出てきたものは、昔みたいにみじめな生活とはかきらないんじゃないか……。

E子 いや、それはわからないと思う。SF的かもしれないけれど、昔よりもっとひどい生活が待っているかもしれないということも考えうると思う。たとえば土壌がだめになっということとか、山の木がだめになっていることが現実にある、木というのは、何十年もたたないと育たないわけでしょ、気がついた時にはもう生産に間に合わない……。そうなる、昔の貧乏どころではないわけよね、人口だつて圧倒的に多いし。

D子 好んで山林や畑をなくしている日本人のおろかしさね。

B子 だからこそ、エコロジー運動を提唱している、汚染されることから防ぐようにす

れば、あるいは間に合うかもしれないと思うの。
D子 間に合う、間に合わないと言ったって、人類の生きる土壌そのものがだめになつたら、本当にアウトなわけよね。それなりの科学者は、当然わかっていることだろうけれど。ただ、それが情報に流されてこないわけでしょ。豊かな生活というイメージだけが一方的に流されてきて。

F子 それと、私たちの側にも専門家のいうことは正しいみたいなのがあって、疑問に思ったことを聞きにくい精神構造になっている。むこうも聞くといやな顔をするしね。

今こそ、フェミニズム運動に

エコロジの視座を

D子 管理されやすいというのは、自分を突き出していくという発想が育っていないからじゃないかしら。だから、誇りが無いと思うの、日本の文化には。物質的にはうんと豊かになったかもしれないけど、時代に対応していく発想というのが全然育っていないところ。私には、そこをふんばらなければいけないと思うのね。
E子 そういうものを獲得していくためには、どうすればいいんだろう。
A子 思っても言わないということ、日常的なところで言っていくという訓練も大事だと思ふの。

C子 私は、ちがった価値観に対して、ノリと言うだけにとどまらずに、それとはちがった価値観を、具体的に少しずつでもつくっていかねければいけないと思うのね。そうでない

E子 やっぱり日本人というのは、善良でめでたくできているんじゃないかしら。こういうひどい状況の中で、前回の衆参同時選挙では自民党の圧勝ということがあったわけでしょ。あの時は、国民のお人よし加減にせつなくなつて、自民党というより、むしろ私たちが側の多くの人たちに腹が立ったというのが実感だったけど、私たち自らが、だまされながら墓を掘りつつけているようなものよね。
B子 公共意識のなさとかプライドのなさも育てられているから、日本の国民性って、とても管理しやすいと思う。

いと、ふんばるといふ意味もはつきりしないし、対抗しきれない。
D子 一人ひとりちがった価値観にぶつかっているだけでは、あまりにも小さすぎるものね。社会機構ががんにがらめだし。自分だけでも守り通そうとしてやったとしても、全体からみれば、自己満足でしかない。社会は、そのまま正反対の方向にひとり歩きして、どんどん砂漠に向かつていくようなもので、社会の「進歩」に運動の速度がついていかない。じゃあ、どうするかということを見つめられるかどうかということ……。

E子 私は、見つけられると思うのね。というの、たとえリブ運動は、この十年間で一部のハネあがりという見られ方ではなく、もっと人びとの身近かなものになってきた。女性は、昔よりもうんと変わってきていると

いうのが実感でわかるのね。たとえば離婚なんかでも、離婚しても自覚と経済力があれば何とか生きていける時代になってきた。だから、変わる「んだ」ということ、変わったところが確実にあるんだということね。私たちが前にいるいるなことをやってきた女性たちには、すごく楽よね。市川房枝さんの時代や、一代前前の小沢遊子さん、桐島洋子さんの時代に、私がどれだけのことができたかと思うと、うんと今のほうが楽だという気がするの、先駆者たちの後で。

もう一つは、さらに具体的な女性解放の方向性ということでは、模索している時期だという気がするけれど、アメリカなんかでも、ベティ・フリーダンの時期が一つ終わって、草の根運動も一つのピークにきて、また波がちがうところに行きそうだとことを伝え聞くけれども、私は、まさにエコロジ運動をリブの中に引き入れるときじゃないかという気がする。今の産業社会というのは、自然を否定する、破壊する、征服するという思想があつて、それが今、根底からくずれつつあるわけでしょ。それに対して、自然を肯定し

A子 今までにいろいろな話がでて、わかってきた部分もあるけれど、もう少し具体的に話さないと……。
B子 具体的なことでは、衣食住の問題から考えていけばいいと思う。最近では、「道られ男の自立」というシリーズで朝日新聞にも

問 わ れ る

根本的な価値観の転換

て、失われ、破壊されたものをとり戻さなければならぬというのがエコロジ運動であるわけだけれど、その自然の中に女性も含まれていると思うのね。というの、産業社会が進む中で女性「性」が否定されてきて、人間の「知」の部分を上において、「肉」の部分を下におく、その「肉」の部分も女性に負ってきたんですよ、出産ということ。それを不浄なものとする考え方がずつとあつたわけよね。

そのことを青木やよひさんがレポートの中で見事におっしゃっていたのをメモしてあるんだけど、簡単に、という文明とは野蠻の克服であり、肉体の抑圧、すなわち性の軽視であつて、それが性差別につながってきたんじゃないかというのね。歴史の中で否定されてきた女性の性を受容するというのは、肉体の受容であるわけよね。肉体というのは自然でしょ。そこで、さっきのエコロジ運動と結びつくわけね。まさしく、エコロジ運動というのは、時代の流れの中で生まれてきたものね。
F子 うーん、なるほどね。

とりあげられていたけれど、仕事人間であり続けていくうちにまったく家事能力のない男の人生の末路みたいなものが点検されはじめたじゃない(笑)。そういうことに気づきはじめて男性も確実に増えているんじゃないかしら。そのような男性たちと手を結び合える

運動でありたいと思うの。
E子 どうしてそうなったかというのと、それはやっぱり、リブ運動の成果だと思ふの。
一同 そうそう

E子 男性にとつては、たいへんなカルチャ
ー・ショックよね。だけど、最後の部分で
は、どうしてもだまっけてしまふ部分がある
正直にある男性が言っていたけれど……。

さつき、安全が安全でないかという議論で
は物足りないという意見が出たけど、そのへ
んにエコロジイ運動を考えるにあたっての鍵
があるような気がする。じゃあ、どの発想に
つながらるかというのと、まさに、自然破壊に
なるといふことが、自然破壊に
なるといふことが、自然破壊に
なるといふことが、自然破壊に

問題になるけれどね。たとえ安全であつた
としても、私たちに必要であるかどうか
という価値基準ね、大切なのは。つまり、エ
コロジイ運動というものは、自然を破壊しな
がら、恣意的に価値をつくり出すというこ
すためきた合理的優先の社会の中で、もう一
度自然を大切にしたい、人間の生命や肉体を
価値として認めていきたいという運動じゃな
いのか。

E子 与えられたものを鵜呑みにするんじや
なくて、もう一度検証してみ、そのために
は巨大な技術では検証できないから、手に負
える範囲の小さな技術で、ということかな
C子 そうじゃないんじやない。何を価値
として認めるかという発想の転換なんだと思
ふの。自然の摂理の大きな流れの中で、その
価値をみれるかどうかと思う。

B子 人間の存在そのものが自然の摂理を冒
すという例は、枚挙にいとまがないほどある
わけでしょ。一例を挙げると、人間が自然を
求めて山登りをして、残飯やゴミなどを置い
てくるとするでしょ。そうすると残飯をねら

ってネズミなどが出没して、雷鳥などの高山
動植物を荒らしてしまふ、何千年もかけて整
った高山の生態系を破壊してしまふというの
ね。だからエコロジイの考え方というのは、
自然の摂理に学びながら、人間の英知を加味
していくということにあると思うのね。単に
自然の摂理に従うだけじゃなくて。

F子 技術そのものがエコロジイと対立する
とは考えられないわ。
B子 そうね。高度なテクノクラットの時代
を経て、それを反面教師として生まれるもの
なのよ、エコロジイというのは。技術を反
面教師としながら、どのように生かしていく
かという面もあるわね。

C子 技術や科学の発達そのものはいいこと
なんだけど、それが管理するしくみの中にま
きこまれていくのが今の社会よね。この本に
も書いてあるけれど、学校教育なんかを例に
とつても、子ども自立する能力を養う教育に
というよりも、管理する機構にだけ適応
できるかを教える教育になっているのよね。
結局、人間の自然性みたいなものをどんどん
破壊するしくみになっていて、それにのっか
っていくのが優れた人間といわれている。そ
ういう全体の社会機構に対する根本的な価値
観の転換を迫っていると思う。

E子 これは、もつと多くの人が、もういや
だと思ふところまで行きつかないか……。
D子 みんなが実践しはじめて、はじめて技
術的にも科学的にもそれが必要かということ
が出てくるのよね。

F子 でも、そうなったときは、どうなるん
だろう。
E子 もじかしたら、間に合わないかもね。
B子 でも、希望を抱いていこうよ。何ごと
も少数派からはじまるんだから(笑)。

エコロジイ運動とは

宮川中民著「エコロジスムの展開」(現代の理論社刊)中の「エコロジイ運
動と現代」の中からエコロジイの理念と思われる部分を、一部抜粋してみた。

1 第三世界の収奪のうえに成り立つわれ
われの豊かさそのものが、じつは豊かさ
ではなく、逆に危機を生みだす。こうした自
覚から生まれたものに、欧米におけるエコ
ロジイ運動がある。

一九七二年のローマ・クラブの報告やス
トックホルムの環境会議は、このまま文明
が発達すれば、歴史上前例のない災害に見
舞われるだろう、との警告を発し、七三年
の中東戦争は、資源の枯渇が人類の日程に
のぼったことを告げた。外貨をかせぐ石油
などの資金を産出しない第三世界、むしろ
「第四世界」諸国では、自給自足が不可能
になり、食料をまかなうのに、外国からの
穀物の輸入にたよるようになっていく。ア
メリカ、ソ連を初めとする世界の大国は、
第三世界に兵器を売ることによって、外貨
をかせぎ、第三世界の石油などの資源を購
入する。

3 近代に発達した科学技術は、自然を征
服し人間にとってより良い生活をきずくこ
とを目的としていた。しかしエコロジイ運
動は、それとは反対に、自然を尊重し、自
然との共生によってより良い生活をきずく
ことを目的としている。

エコロジイ運動の最大の課題のひとつ
は、環境公害、薬品公害など、自然破壊の間
題にとりくむことである。それは、科学技
術の発展によって人間はますます幸福にな
るといふ考えの逆を行くものだ。たとえば、

いかに母乳に構成成分が一致した人工乳をつ
くったとしても、母乳とは異なっており、
それを赤ん坊が飲むことによって及ぼされ
る影響を測定することすら、科学の力を越
えている。

3 テクノロジイの進歩は、生産性を高め、
人間に豊かさを保障するものと考えられて
きた。しかし、テクノロジイの進歩は、資
源の枯渇や環境破壊をもたらすにとどまら
ず、民主主義の危機をひき起こしている。
いままでの考え方では、科学技術が人間
に益をもたらすか、それとも害をもたらす
か、人間の使い方しだいでということであ
った。人間がすぐれた道徳をもつなら
ば、科学技術は、より良く使われ、人間の
幸福に役だつものだということを意味して
いた。つまり原子力は、軍事的に使われ
れば、人間の破局を招くが、平和的に使用さ
れば、人類に巨大なエネルギーをもたら
し、人類の繁栄に貢献するといった考え方
であった。しかしエコロジイ運動は、民主
主義の視点から、原子力の軍事利用だけ
なく平和利用についても反対する。発達し
た科学技術はますます複雑で、専門化し、
いまや専門家しかそれを管理できず、一般
の人は科学技術に近づくことができない
た。科学技術の発達に伴って、資源やエ
ネルギーの使用が大規模化し、生産の単位
は、ますます巨大になり、科学技術に伴う
知識は、ますます専門化する。

だまっていれば戦争になる!

核禁止・軍縮へ3000万署名を

核戦争の危機がひしひしと感じられる今、何としても戦争を阻止したい。私たちのあふれる思いを第二回国連軍縮特別総会にアピールしよう、3000万署名を集めています。

さまざまな団体が取り組む中で、女たちも共同行動を始めました。戦争への道を許さない女たちの会V、第二回国連軍縮総会へ向けて婦人の行動をひろげる会Vに参加する中、AあごらVも署名活動を印刷してお届けしました。先月、独自の署名用紙を印刷してお届けしましたが、この半月で44761円のカンパと346名の署名がさっそく返送されるとともに、もっと用紙を送ってほしいという声も続々寄せられています。用紙を増刷しましたので、ご希望の方はお申し出ください。なお、ご承知とは思いますが、この署名は「だまっていれば戦争になる」いまの状況に対し、それぞれの人のできる反戦運動を展開する契機として行なうものですので、単に署名を集めるだけでなく、署名依頼をきっかけに、反戦について話し合い、その輪を広げていきたいと思います。

◆締切日は4月29日AあごらV必着です。集まった署名用紙とカンパを4月30日に各グループが持ち寄ることになっています。

◆署名用紙には表紙をつけて整理し、まず日本政府に提示して政府に強く要請します。(国連で非核動議が出されるたびに、日本政府は棄権しているのです!)

◆その後、ニューヨークに持参し、6月10日

の国連軍縮特別総会に提出し、アピールします。

◆各団体が現在署名運動を展開していますので、若干の重複はやむを得ません。

◆カンパはむりじせず、志のある人が出しましょう。反戦の意思表示が何よりも重要です。

◆カンパはすべて台帳に記録しています。領収証は4月30日のまとも以後お送りします。

5月には反核50万人集会を!

署名運動のほかに、次のような各種の取り組みが予定されています。ふるってご参加を。

●3月8日「国際婦人デー」に街頭署名

●3月21日「反核軍縮20万人集会(於広島)」

●4月8日A戦争への道を許さない女たちの会VシンポジウムII軍縮運動のすすめ方

●4月10日「婦人参政の日」記念「反核軍縮シンポジウム」映画「人間をかえせ」上映

●A国連軍縮特別総会へ向けて婦人の行動をひろげる会V

●5月23日「反核軍縮50万人集会(於東京)」

『自分流に考える』をよんで

駒尺 喜美

戦争のさ中に、自分の家だけ白旗を上げたことと言って、友人から泣いて諷められたこと

があったが、その時から今日まで、私はすっかり白旗主義である。が、最近、男性にも白旗主義をかかっている人がいることを知って、愉快になってしまった。「自分流に考える」森嶋通夫さんである。

森嶋さんは、私とはちがって、いつてみれば、優等生的発想から考えを押しつめていて、「万が一にもソ連が攻めて来た時には白衛隊は毅然として、秩序整然と降伏するより他ない」という。彼はソ連が攻めてくると思っているわけではないが、軍拡論者が、攻めてくればどうする、どうするといふから、万が一その時は白旗降参するよりないといっているのである。

資本主義より社会主義のほうがいいから、ソ連に降参してよいというのでなく、純粹に(?) 戦略的、戦術的に、これまでの戦争で、各国の経験や、現在の国際状況を考察していった結果、白旗主義が最上の戦術だといわなければならない。この本のサブタイトルが「新・新軍備計画論」とされているように、日本の国防を本気で考えるならば、軍備拡大は劣悪な方法であること、つまり国防策は、タンクやミサイルのハード・ウェアでなく、外交や経済協力や文化交流のようなソフト・ウェアでゆくべきだということ、第二次大戦中の世界各国の動きを分析して、結論しているのである。

私は悪い戦争はもちろん、良い戦争も反対である。良い戦争もいつ悪い戦争となるかわかったものではない。良いにしろ悪いにしろ、そして勝つにしろ負けるにしろ、戦争による犠牲は大きい。空想的、敗北的だといかにあるなどられても、私は白旗主義を守るつもりでいたが、私の場合は、いわば劣等生的発想か

らであった。が、森嶋さんは、優等生的発想からいっても、同じ結論になることを論証して下さったので、この本を紹介する気持ちになりました。

駒場祭の暴力?!

東大アイドルコンテスト

ミスコンテストを糾弾する会

昨年十一月二十三日駒場祭において、アイドルプロデュース研が企画・主催して「第二回東大生が選ぶアイドルコンテスト」が行なわれた。私たち「アイドルコンテスト・ミスコンテストを糾弾する会」は、これに対する抗議行動のひとつとして、当日、会場入口においてばらまきを実行した。そこには日本テレビ、週刊読売などのマスコミも取材に来ており、私達も取材を要求されたのであった。しかし、私達も取材は、マスコミのこれまでの、私たちのような運動のとりあげ方のひどさといふのはよく知っていたため、気をつけて対応していたのであった。

ところが、私たちが、顔などの撮影を拒否したにもかかわらず、「週刊読売」のカメラマンがだしぬけに、私たちの会員のひとりの顔を撮ったのであった。そこで被撮影者は、「何をすするんだ!」と、カメラマンのカメラを持っていったが、パスとはした。するとカメラマンは、自分の、無断撮影というマスコミの権力をカサにした「暴力」を棚上げして「ぶった!」と騒ぎ始めた。そこで私たちが「写真」といふのは撮られたその瞬間から、撮られた者にはどのようにそれが利用されていくのが全くわからない。勝手に撮るといふのは許せない。」と詰めよると、「あなたはボクをぶつ

たのだから勝手よばわりはできないはずだ」と開き直った。さらに「無断撮影というのはマスコミという権力の大きな暴力ではないか」と追求すると、「記事になったら告訴してください！」と居直った。私達がさらに議論を追ると彼は「まあいいや、遊んでんじやないんだから」と、捨てゼリフか逃げ口上かわからないような言葉を吐き捨てて会場内に入ってしまった。

その後、十二月十三日号の『週刊読売』に、彼女の顔写真とともに(それも、一位に選ばれた人の隣におかれて)「女ってみせもの?」——抗議のビラを会場入口で配る「アイドルコンテスト・ミスコンテストを糾弾する会」の一人。本誌カメラマンは、「なぜかこの撮影直後、彼女にぶられた」というコピで記事にされていたのである。私たちはこの『週刊読売』の暴挙に対し

女の映画『声なき叫び』 上映運動にご協力を

女の側から強姦を描いた映画「声なき叫び」は、7月9、10、11日に日仏会館で上映が決定。今、資金・スタッフ・強姦についての資料集めやスリープ翻訳に奔走しています。是非協力してください。入場券となる上映協力券千円、一時お借りする上映協力金三千円。送金は郵便振替口座、東京7-48985の「私たちの映画祭実行委員会」へ。カンパもヨロシク。
連絡は、渋谷区代々木4-28-5、東都レジデンス410。TEL370-6007(水曜夜か土曜午後)。

て、抗議文を送り、謝罪を求めた。電話もかけたのであったが、数回の後やっと編集長が出て、「回答はします」と応えたのであったが、いまだになしのつぶてである。

大体、「なぜか」なんていうことは、カメラマンは無断撮影の抗議とわかっていたはずであり、「ぶられた」なんて大げさすぎる。びらでいたいだけだったのだ。

結局、私たちが報道するといっても、私たちの主張を報道するのではなく、ある種の「みせもの」として報道したのである。どうみても私たちを公平な立場で(彼はそういう立場で取材すると言っていた)なんか取材し、記事にしたなどは見えない。マスコミというものの愚劣さを改めて認識する一件であった。

連絡先 堂前標 文京区千石3-11-10
長谷川庄 2F2号
電話 946-1455

求むアルバイター 月に4-10日間働ける方

BOCでアルバイトを求めています。月間30-70時間程度編集事務や雑用を手伝って頂ける方。レイアウト・整理等の経験があればなお可。希望の時間給、出勤可能な曜日と時間帯、自己紹介文を下記にお送りください。
〒160 東京都新宿区新宿1-9-6 BOC

おめでと!!!

朝日新聞ニューヨーク特派員として活躍中の下村満子さんが、81年度のポイン上田賞を受賞。国際的な活躍の目覚ましい国際記者に贈られる賞で、女性記者としては下村さんが初めてです。

関和子さん 立教大法学部社会人コースに合格。人工心臓弁の大手術に耐えた関さん、人生の折り返し点を超え難しい試験にチャレンジ、見事成功!

3月15日"we"創刊!

家政教育社を追われた半田たつ子さんたちを支援する女たちの熱意をこめて月刊weが誕生。現在申込み数2200。あとひと息で定期発行を維持できます。同封振替用紙でゼヒ。

今年度分會費

2月1日と2月27日分の報告
1月に引き続き順調に入金が続き、2月には283人の方から166万8千円の今年度分會費を頂きました。基金は12人の方から5万6千円でした。(今年度分累計532人の方から315万321円、基金は22万9千円)

編集後記

このところ参加者が少ない(あごら北東京)。例会が、より意味深いものになるように、今年にはひとつのテーマをほりさげてみることにしました。今回は、フェミニズム運動とエコロジー運動のかかりについてでした。

蔓延する物質文化の中にあつて、私たちは、確実に破壊に向かっている地球全体の危機を知らなすぎるのではないか。人類が気づいたときには、ひょっとしたらもう遅すぎることになるのでは。

あまりに恐ろしい現実です。私たちの手でどれほどのことができるかわかりませんが、次回も継続座談会をくみ、考えていきたいと思えます。講師に「いのちのために行動する会」の西尾昇さんをお招きしています。希望者はぜひどうぞ。(志賀)

育ち合い

—保育をわたしたちの手に—

編集・婦人民主クラブ
パンフレット委員会

価 五五〇円
〒 二〇〇円

このパンフレットは婦人民主新聞一九七九年二月九日号から約二年間掲載してきたシリーズ「育ち合い」を集録し、なお保育の全体像をつかむために若干の補足・資料を加えたものです。ここに見られるたぐいさんの実践は、多くの示唆を含むのですが、産休明けや長時間保育論争にみられるように、特定の保育像を提出したのではなく、意見の隔りは隔りとしてそのままに、今後、子供と共に育ち合う関係を模索する一つの手がかりとなれば幸いです。

- I 保育所はいま
- II 産休明け保育と長時間保育
- III 保育労働者の労働実態
- IV 差別とたたかう保育
- V 男の子育て
- VI 諸外国の保育状況
- VII 保育行政
- 資料篇

送料一冊三〇〇円、二冊五〇〇円、四冊まで三〇〇円、七冊まで三五〇円、十冊まで四〇〇円です。
お申し込みは書記局へどうぞ。

婦人民主クラブ

<女のつどい・女の講座>

日	時	テ	マ	会	場
3月10日(水)	19:30~ 19:30~	緑のふるさと・3月例会 林 郁			新島私塾 03-323-4348 大津市民会館会議室 婦選会館 370-0238
12日(金)	13:30~15:30	「在日朝鮮人の教育問題」福島信夫朝鮮を考える3月定例学習会			喫茶のあ (南4142) 511-1377
13日(土)	13:30~16:00	あごら札幌・例会 「女と情報」読書会			仙台市戦災復興記念館 浦和コミュニティセンター
14日(日)	13:30~17:00	あごら浦和・例会 「結婚」を考える			
		あごら大阪・例会			福岡市立婦人会館 連絡 03-262-8018
		あごら九州・例会			連谷勤労福祉会館 連絡 03-329-6437 (2時~4時)
15日(日)	18:00~21:00	第2回エイボン女性駅伝 エイボン女性文化センター主催			連谷勤労福祉会館
16日(火)		結婚の意味を問う継続討論 問い合わせ 藤村 03-354-2543			連絡 03-329-6437 (2時~4時)
17日(水)	18:30~21:30	あんふあんで・出産アンケート会議			連谷勤労福祉会館
18日(木)	18:30~	アジアの女たちの会・女大学 「ふたたび“女”は家に」——家庭基盤充 実政策を問う 話 庄野夏子・草野いずみ他			ジョッキ 03-357-9565
	18:30~21:00	刑法改悪に反対する婦人会議・定例会 (毎週木曜日)			あごら読書室
20日(土)	14:00~22日夜	あごら26号編集会議①			新島私塾 03-323-4348 会費2万円
21日(日)	13:30~17:00	新島私塾哲学合宿 定員8名(先着べ切) テーマ「私の仕事を考える」 反核・軍縮20万人集会			広島 ジャンバラ
		あごら京都・例会			連絡 03-329-6437 (2時~4時)
		あんふあんで・4月号編集準備会議			連絡 03-464-8840
	15:30~17:30	良心的軍事費拒否の会・定例会			喫茶のあ (南4142) 511-1377
	13:30~17:00	あごら札幌・「今、戦争を考える」連続講座・「女と情報」読書会			浦和コミュニティセンター
22日(月)		あごら浦和・例会 「結婚を考える」			連絡 ジョッキ 03-357-9565
23日(火)	18:00~21:00	鉄連の7人とともに性による仕事差別・賃金差別と闘う会・運営委員会			家の光会館 (飯田橋駅下車)
27日(土)	13:00	「日の丸」とアジア 鶴見良行 日本はこれでいいのか市民講座			
	13:30~	あごら九州・例会			連絡 508-8431
	13:00~	女性と健康 講師島田とみ子・古川幸子 婦人問題懇話会例会			全水道会館5 F 03-812-4221
	19:30~	「主婦の再就職を考える」パート・未組織労働者連絡会 講師 中島誠ほか			連絡 ジョッキ 03-357-9565
30日(火)	18:00~21:00	「教室の中の性差別」行動を起こす女たちの会・3月定例会			家の光会館
	19:00~21:00	「食べ物の味を問う」前田俊彦 日本はこれでいいのか市民講座			婦人協同法律事務所
		あごら北東京・例会 「フェミニズムとエコロジーについて」継続討論 講師 西尾昇 (いのちのために行動する会)			
4月1日(木)	18:30~21:00	あごら26号編集会議②			あごら読書室
5日(月)		鉄連の7人とともに性による仕事差別・賃金差別と闘う会・運営委員会			連絡 ジョッキ 03-357-9565
6日(火)	18:00~21:00	「若狭から原発を考える」水上勉 日本はこれでいいのか市民講座			家の光会館
7日(水)	19:30~	落合恵子と語ろう(仮題) (私たちの雇用平等法をつくる会)			浪谷勤労福祉会館
10日(土)	13:30~16:00	婦人参政権行使のつどい 映画とシンポジウムの集い			日本教育会館(神田一ツ橋)
11日(日)		あごら九州・例会			福岡市立婦人会館
13日(火)		あごら札幌・例会 「離婚から結婚をみる」			喫茶のあ
	18:00~21:00	戦争への道を許さない女たちの連絡会・定例会			連絡 03-816-2057
		「産業ロボットは何をもたらすか」星野芳郎 日市連市民講座			家の光会館
16日(金)	18:30~21:30	あごら26号編集会議③			あごら読書室
19日(月)	10:00~12:00	日本の中世史(4/19~隔週月曜日)			婦選会館(370-0238)
21日(水)	19:30~	女大学・アジアの女たちの会			浪谷勤労福祉会館
24日(土)		あごら九州・例会			福岡市立婦人会館

所在地	連絡先
旭川市神楽岡1条5丁目3	田代慶子
旭川市1665	人員主
札幌市西區琴似1条6丁目グランドハイイツ琴似	1
札幌市西區琴似1条6丁目グランドハイイツ琴似	1
札幌市西區琴似1条6丁目グランドハイイツ琴似	1
仙台市青山1-13	三船照子
仙台市青山1-13	2
仙台市青山1-13	3
仙台市青山1-13	4
仙台市青山1-13	5
仙台市青山1-13	6
仙台市青山1-13	7
仙台市青山1-13	8
仙台市青山1-13	9
仙台市青山1-13	10
仙台市青山1-13	11
仙台市青山1-13	12
仙台市青山1-13	13
仙台市青山1-13	14
仙台市青山1-13	15
仙台市青山1-13	16
仙台市青山1-13	17
仙台市青山1-13	18
仙台市青山1-13	19
仙台市青山1-13	20
仙台市青山1-13	21
仙台市青山1-13	22
仙台市青山1-13	23
仙台市青山1-13	24
仙台市青山1-13	25
仙台市青山1-13	26
仙台市青山1-13	27
仙台市青山1-13	28
仙台市青山1-13	29
仙台市青山1-13	30
仙台市青山1-13	31
仙台市青山1-13	32
仙台市青山1-13	33
仙台市青山1-13	34
仙台市青山1-13	35
仙台市青山1-13	36
仙台市青山1-13	37
仙台市青山1-13	38
仙台市青山1-13	39
仙台市青山1-13	40
仙台市青山1-13	41
仙台市青山1-13	42
仙台市青山1-13	43
仙台市青山1-13	44
仙台市青山1-13	45
仙台市青山1-13	46
仙台市青山1-13	47
仙台市青山1-13	48
仙台市青山1-13	49
仙台市青山1-13	50
仙台市青山1-13	51
仙台市青山1-13	52
仙台市青山1-13	53
仙台市青山1-13	54
仙台市青山1-13	55
仙台市青山1-13	56
仙台市青山1-13	57
仙台市青山1-13	58
仙台市青山1-13	59
仙台市青山1-13	60
仙台市青山1-13	61
仙台市青山1-13	62
仙台市青山1-13	63
仙台市青山1-13	64
仙台市青山1-13	65
仙台市青山1-13	66
仙台市青山1-13	67
仙台市青山1-13	68
仙台市青山1-13	69
仙台市青山1-13	70
仙台市青山1-13	71
仙台市青山1-13	72
仙台市青山1-13	73
仙台市青山1-13	74
仙台市青山1-13	75
仙台市青山1-13	76
仙台市青山1-13	77
仙台市青山1-13	78
仙台市青山1-13	79
仙台市青山1-13	80
仙台市青山1-13	81
仙台市青山1-13	82
仙台市青山1-13	83
仙台市青山1-13	84
仙台市青山1-13	85
仙台市青山1-13	86
仙台市青山1-13	87
仙台市青山1-13	88
仙台市青山1-13	89
仙台市青山1-13	90
仙台市青山1-13	91
仙台市青山1-13	92
仙台市青山1-13	93
仙台市青山1-13	94
仙台市青山1-13	95
仙台市青山1-13	96
仙台市青山1-13	97
仙台市青山1-13	98
仙台市青山1-13	99
仙台市青山1-13	100

各地のあごら連絡先